

第28回 腸内細菌学会学術集会

発表演題募集・プログラム

メインテーマ

腸内環境研究が拓く健康社会

—最新研究の動向と社会実装に向けた取組み—

開催日

2024年

6月25^火日 » 26^水日

会場

タワーホール船堀

東京都江戸川区船堀 4-1-1

大会長

藤田 史朗

(日清ファルマ株式会社 健康科学研究所長)

事前登録費

3/1 ~ 6/3

会員 8,000 円 一般 12,000 円 学生会員 1,000 円 学生(一般) 2,000 円

当日参加費

会員 9,000 円 一般 13,000 円 学生会員 1,500 円 学生(一般) 2,500 円

(要旨集：個人会員・一般・学生無料配布、当日別売 2,000 円)



一般演題（若手ワークショップ、ワークショップ）申込要領

昨年度より一般演題は若手ワークショップ、ワークショップ形式で発表されることとなりました。若手ワークショップでは口頭発表に加えポスター発表をしていただきます。ワークショップは原則的に口頭発表となりますが、登録演題数に応じて、一部ポスター発表となることをご了承ください。

腸内細菌をはじめとする腸内微生物の生態、分類および機能・腸管免疫・食品微生物・プロバイオティクス・プレバイオティクスなどに関する研究の発表を下記の要項に従ってお申し込みください（メインテーマと関連がなくても結構です）。若手研究者・新規研究者の発表の場として非会員にも開放しております。

本大会の一般演題は、大会1日目午前中に【若手ワークショップ】（8分程度の口頭発表〔質疑応答含む〕）と、【ワークショップ】（13分程度の口頭発表〔質疑応答含む〕）を2つの会場で並行して行う予定です。若手ワークショップは口頭発表に加え同日午後のポスター発表もあり、若手研究者による発表や、シーズあるいは萌芽的な研究の発表を歓迎致します。なお、若手ワークショップの中から本学会選考委員によって優秀な発表と評価された発表者に対して「最優秀発表賞」（表彰状および副賞）が贈られます。

① 申込方法 ・抄録用原稿をE-Mailにてお送りください。メール本文には「ワークショップでの発表希望」など、どの演題希望なのかを必ず明記してください。

② 作成要領

❗ 抄録用原稿および発表スライドには、会社名、製品名の使用は避け、成分名、一般名等にて記載ください。

若手ワークショップ

- ・ 2024年6月25日現在で30歳以下の方を対象とします。
- ・ 抄録用原稿は、第28回腸内細菌学会学術集会のホームページから抄録用フォーマット（Wordファイル）をダウンロードして作成してください。
- ・ 抄録の長さはA4 1枚以内とし、上部に演題名・英文タイトル・演者（○をつける）・共同研究者の氏名および所属を明記してください。
- ・ 本文の長さは和文1,000文字または英文550ワード内とし、「目的、方法、結果、考察」の順で記入してください。
- ・ 締切：2024年1月31日（水）必着にて下記事務局までお送りください。

和文タイトル
英文Title

○腸内太郎¹，腸内花子²
¹腸内大学研究所，²株式会社 腸内細菌

【目的】…

【方法】…

【結果】…

【考察】…

2024年1月31日（水）まで

ワークショップ

- ・抄録用原稿は、第28回腸内細菌学会学術集会のホームページから抄録用フォーマット（Word ファイル）をダウンロードして作成してください。
- ・抄録の長さはA4 1枚以内とし、上部に演題名・英文タイトル・演者（○をつける）・共同研究者の氏名および所属を明記してください。
- ・本文の長さは和文1,000文字、または英文550ワード内とし、「目的、方法、結果、考察」の順で記入してください。
- ・締切：**2024年1月31日（水）必着**にて下記事務局までお送りください。

③ 発表時間

若手ワークショップ 6月25日（火） 小ホール（予定）

大会第1日目午前中のセッションでの口頭発表（5分発表＋3分質疑応答）と同日午後にその講演のポスター発表（60分程度）になります。

※学会開催期間中に最優秀発表賞の発表を行います。

ワークショップ 6月25日（火）・26日（水） 大ホール（予定）

大会第1日目午前中と2日目午後のセッションでの口頭発表（10分発表＋3分質疑応答）となります。

※申込が多数の場合は選抜制とし、一部は口頭発表ではなく、ポスター発表となることをご了承ください。

※発表時間は変更になる可能性がございますのでご了承ください。

④ 申込先および事務連絡先

公益財団法人 腸内細菌学会事務局
〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 1-24-12
TEL 03-5319-2669 FAX 03-5978-4068
E-Mail アドレス jbf@ipec-pub.co.jp
ホームページ <https://bifidus-fund.jp/>

⑤ その他

発表方法や時間などは採択後に発表者にご連絡します。なお、演題の採択は学術委員会の審査を経て、大会長が判断いたしますのでご了承ください。

また、発表者の皆様には、ご発表に際し「利益相反（COI）」に関する開示をお願いいたします。発表スライドまたはポスター中にCOIの有無について公表してください。

企業に所属の場合は、別企業とCOI状態にある場合に開示してください。

当財団の「利益相反（COI）」開示方法については、「公益財団法人腸内細菌学会ホームページ」→「当財団について」→「利益相反（COI）について」をご参照ください。
(https://bifidus-fund.jp/aboutcenter/pdf/about_coi.pdf)

（公財）腸内細菌学会は特許庁による特許第30条第1項の規程にもとづく学術団体として指定を受けています。

学会スケジュール (予定)

6月25日 (火)

第1日

9:55～10:00 **開会の挨拶** 大会長 藤田 史朗 (日清ファルマ(株) 健康科学研究所長)

10:00～12:00 **若手ワークショップ 口頭発表** (小ホール)

ワークショップ 口頭発表 (大ホール)

※ワークショップの申込が多数の場合は、一部翌日 26 日(水)に行う予定です。

(12:00～13:00 昼食休憩)

13:00～13:50 **理事長講演** (大ホール)

清野 宏 (千葉大学 / カリフォルニア大学サンディエゴ校)

「粘膜免疫と腸内細菌がいざなう共存共栄の世界」

13:50～14:40 **特別講演** (大ホール)

寺内 淳 (一般社団法人日本マイクロバイオームコンソーシアム /
メタジェンセラピューティクス (株))

「マイクロバイオーム研究の創薬や社会実装を目指した取り組み
～産学官連携による協調的取り組み～」

14:40～14:45 **研究奨励賞授賞式** (大ホール)

14:45～15:05 **受賞講演 1**

15:05～15:25 **受賞講演 2**

(休憩)

15:40～16:00 **海外教育講演** (大ホール)

Maria Gloria Dominguez Bello (Professor of Microbiome and Health, Rutgers University, USA)

“The Novacene Microbiota”

16:00～16:50 **海外特別講演** (大ホール)

Martin J Blaser (Professor of Medicine, and Pathology & Laboratory Medicine, Rutgers University, USA)

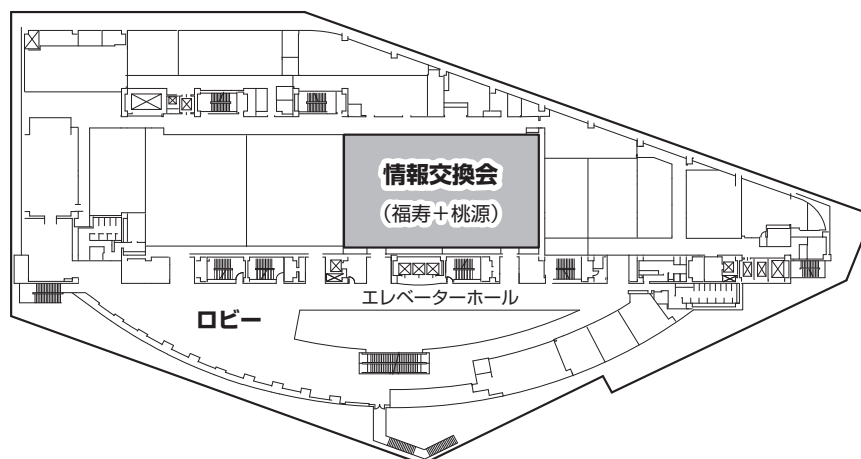
“Early life intestinal microbiology determines course of chronic diseases”

17:00～18:00 **ポスター発表**（1F 展示ホール）

午前の部に行ったショートプレゼンテーションのポスターを用いた
質疑応答タイム

18:10～19:40 **情報交換会（2F 福寿・桃源）**（予定）

皆様奮ってご参加ください。



第1日

6月25日

(火)

市民公開講座「腸内細菌の光と影：病気との関わり」

13:30～15:30（小ホール）（オンデマンド配信も予定）

神谷 茂（杏林大学）

「健全な腸内細菌は感染症を予防する
～新型コロナウイルス感染症を含めて～」

大草 敏史（順天堂大学）

「腸内細菌が関わる消化器疾患の最新情報」

司会：加藤 公敏（腸内細菌学会 理事）

学会スケジュール（予定）

6月26日（水）

第2日

9:30～12:00 シンポジウム1（大ホール）

『腸内環境研究の最前線』

1. **木村 郁夫**（京都大学大学院生命科学研究科）
「短鎖脂肪酸受容体と宿主恒常性維持機構」
2. **山崎 思乃**（関西大学化学生命工学部）
「プロバイオティクスの膜小胞を介した宿主免疫調節機構」
3. **中村 公則**（北海道大学大学院先端生命科学研究院）
「Paneth 細胞・ α ディフェンシンの腸内細菌叢制御による健康と疾患」
4. **原 英二**（大阪大学微生物病研究所）
「がんと老化における細胞老化の役割：微生物の関与について」
5. **永田 尚義**（東京医科大学消化器内視鏡学分野）
「5,200 例のショットガンメタゲノムと食・薬・生活習慣データから
紐解く病気予防：Japanese 4D microbiome cohort」

（12:00～13:00 昼食休憩）

13:00～15:30 シンポジウム2 (大ホール)

『医・食領域での社会実装化に向けた取り組み』

1. 金 倫基 (慶應義塾大学薬学部創薬研究センター)
「マイクロバイオーームを介した疾患制御」
2. 森藤 雅史 ((株) 明治 乳酸菌研究所)
「多糖体を高産生する乳酸菌による栄養成分の吸収促進作用とその社会実装」
3. 松田 一乗 ((株) ヤクルト本社中央研究所)
「プロバイオティクスの脳腸軸を介する新たな機能の開拓」
4. 高橋 志達 (ミヤリサン製薬 (株) 研究開発本部)
「*Clostridium butyricum* を中心とした LBP (Live Biotherapeutic Products) / 医療用生菌製剤の開発動向」
5. 阿部 文明 (森永乳業 (株) 研究本部)
「ビフィズス菌生菌末の製造技術及び応用製品の開発」

15:30～15:40 閉会の辞

投稿のお願い

本学会でのご発表の内容を和文誌『腸内細菌学雑誌』または腸内細菌学会・日本乳酸菌学会・日本食品免疫学会の合同英文誌『Bioscience of Microbiota, Food and Health』へご投稿ください。原稿の種類は、原著・総説・ノート何れでも構いません。BMFH 誌は2018年3月に SCIE (Science Citation Index Expanded) への掲載が決定しました。これにより BMFH 誌に Impact Factor が付くこととなりました。2022年の Impact Factor は **3.100** に決まりました。

BMFH Journal Impact Factor 3.100



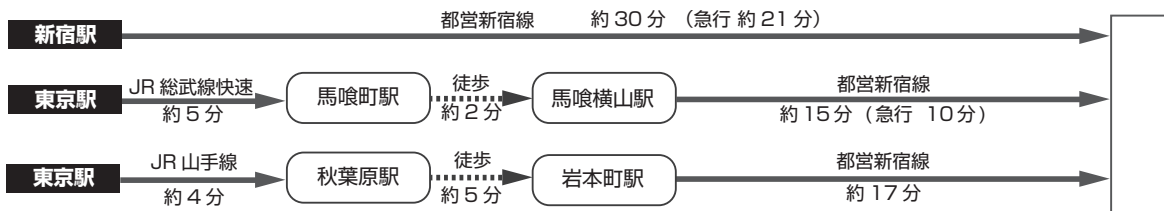
交通アクセス・マップ

タワーホール船堀

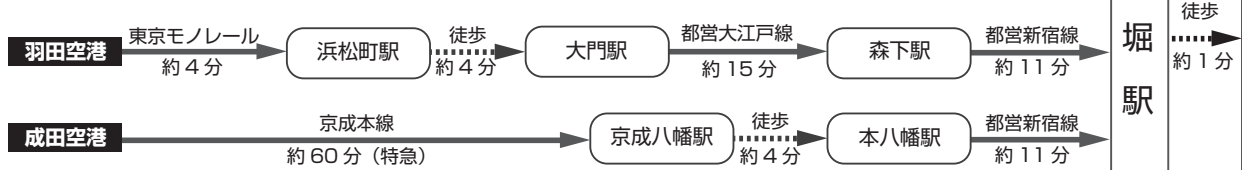
タワーホール船堀までのアクセス (東京都江戸川区船堀 4-1-1)

都営新宿線【船堀駅】より徒歩 約 1 分

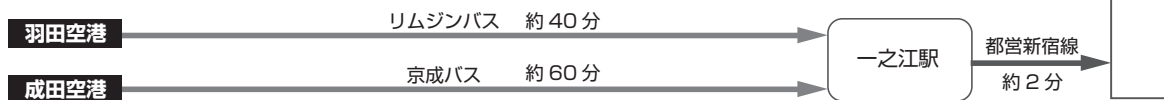
● 電車をご利用の場合



● 空港から電車をご利用の場合



● 空港からバスをご利用の場合

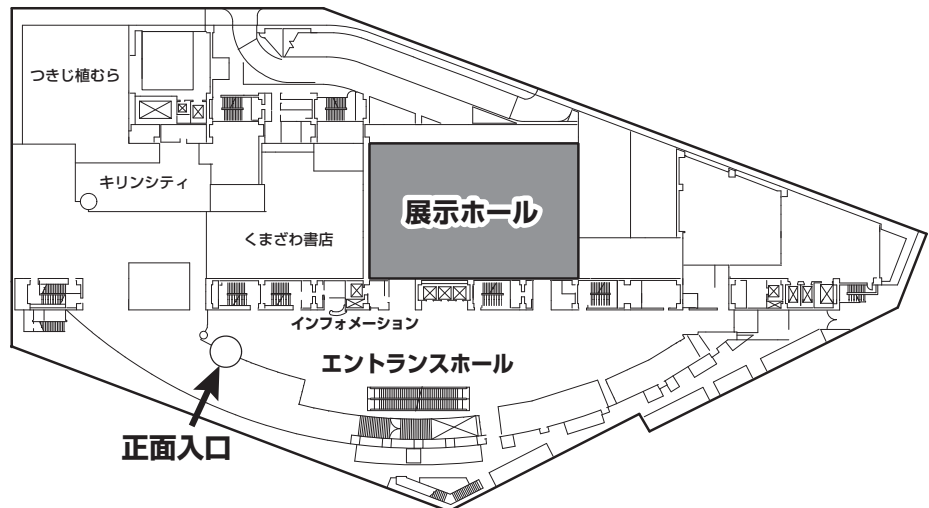


タワーホール船堀

会場案内図

1 F

- ・ ポスター発表
- ・ 企業展示
- ・ 製品提供
- ・ インターネットコーナー



5 F

- ・ 講演会場
- ・ シンポジウム
- ・ 市民公開講座
- ・ 受付

